



# 善正寺だより

〒:512-0902  
 三重県四日市市  
 小杉町1014  
 浄土真宗  
 本願寺派  
 善正寺  
 TEL:0593-31-1670  
 FAX:0593-32-0733

掲示板法話

## 経済のバブルも恐ろしいが心のバブルはもっと恐ろしい



アメリカ発の住宅・金融バブルがはじけて、世界中が恐怖に陥りつつある秋の日、健康だった奥さんが急死し、長く通院、加療中のご主人が後に残されたお宅の法要にお参りしました。仏壇の両側に、親族から贈られた珍しい一對の灯笼が供えられています。六角形の灯笼の中に水が入り、色とりどりの花が浮かび、泡がブクブク上つていきます。「きれいですね。見たこともない灯笼ですね」と話が弾みました。ご主人は「親戚の皆さんのおかげで」と応えたり、涙をぬぐいました。兄弟の一人が「どうしたんや?」と尋ねると「家内が、夢に出てくれて・・・」と再び、まぶたをぬぐいました。

そのような雰囲気の中でお勤めが始まったため、美しく泡の出る灯笼が目に入ります。「泡とは英語でバブルだ」と思いついたので、「法話の冒頭、「心のバブル」という話をしました。「人間は悲しいもので、亡くなった後でしか、大切さ、かけがえの無さがわからないものです。今朝ここへお参りすると共に、ご主人が何度も奥さんの夢を見る、と涙ながらにお話しにな

り、「涙が出る、夢を見るとは人間らしくて有難いなあ」と感じました。翻って自分は家内の夢を見るだろうか。お恥ずかしいことだけれど、「おるのが当たり前」と思っている私自身に気づきました。たまに有難いと思っても『有難う』ともなかなか言えない自分が、『心のバブル』に陥っていることに気づかされました。ご主人の涙と感謝の心、それを促してくれた生前の奥様のご苦勞、そこにみ仏様が『目覚めてくれよ』と働いて下さっているのですね」と想定外の話になりました。ご主人だけでなく、参詣者の多くからも一様に涙声が漏れました。

バブルなのにバブルと思わないから、深みにはまることは二十年以上前日本の土地・株バブルの経験が教えています。十七世紀、オランダが全盛期の頃、何とチューリップ・バブルが起こり、「万有引力の法則」を発見した偉大な物理学者・ニュートンも大損失を蒙った一人であった、という信じがたいような話が残っています。

経済のバブルも困り物ですが、「心のバブル」は更に厄介です。亡くして

分かれればよほどマシな方です。肉親のお骨も拾わずに済ます人も現れる。今は、人間の顔をした「人非人」(それが地獄・餓鬼・畜生の三悪道)の世の中、五濁悪世だと再発見しました。

左記は仏説阿彌陀經、五首目のご和讃。  
 「五濁悪時悪世界 濁悪邪見の衆生には 弥陀の名号あたへてぞ 恒沙の諸仏すすめたる」  
 (浄土和讃)

「お念仏に遇わなければ三悪道から抜け出せないよ」と宇宙の隅々にまでお出ましの諸仏が呼びかけて下さっている。懐かしき両親もご先祖もお浄土から私たちにお念仏をお勧めくださっている」と味わったことでした。亡き方が命をかけて「仏縁」をお恵み下さったのだと思わずにおれません。

### ☆行事ご案内☆

## 門信徒会例会

### 11月16日(日)夜7時半

- ① 報恩講のお勤めとお荘厳:歴史的変遷から学ぶこと。
- ② 2008年を振り返って;皆さんの感想とコメント。
- ③ 2009年の本山・教区・三重組・お寺の行事予定など。

### ◇秋勤進とお磨き 11月23日(日)午前8時

午前中に行事さんが巡回します。よろしくご協力下さい!

### ♪三重組コーラス♪

- ※11/3(月)午後1時 菰野・光了寺(報)4回目
- ※11月5日(水)午前10時半・陽光苑誕生会慰問22回目
- ※11/15(土)夜6時半智積・西勝寺(報)「灯の集い」5回目
- ※11/22(土)京都「御堂演奏会」6回目

バス8時半小杉、9時桜、43名。付き添い参加もOK

◇キッズサンガ11月8日(土)4時お経、紙芝居、ゲーム等

◇一縁会テレホン法話 11冊目の本『逃げたらあかん』発売中

059-354-1454へお電話を。3分間の法話が流れます

善正寺ホームページ「三重 善正寺」で検索『新着情報』

『住職と坊守のつれづれ日記』おススメ!アクセス2000回超える



三重組の秋勤進・お磨き  
 本山参拝研修  
 御影堂前にて笑顔の記念撮影  
 左から服部香苗様、邦子様、服部薫様  
 伊崎芳子様、頭次様

### ☆三重組連続研修5名無事終了

昨年七月から受講された次の五名の方々が去る十月本山での中央研修に参加。二年間「苦勞様、終了おめでとう」。



# 坊守スケッチ

## 「まさかの時代」にどう向き合うか?

昨今の時代の流れの速さには、まるで付いていけない思いがする。アメリカのサブプライムローンの破綻で、経済が行き詰まったかと思ったら、たちまち世界中に不景風が吹き、日本でも近年まれに見る泥沼状態、底なし沼である。対岸の火事と高をくくっていたら大間違い。その影響は、ボディブローのようにじわじわ効いて、足元を掬われる。「政府が悪い、政治家が無能だ」と嘆いてみても何も始まらない。「あの人に騙された」と他人のせいにして、世の中の流れには逆らえない。庶民の私達は、毎日の生活でどう対処すればいいのだろうか?

テレビニュースでアメリカ人が「もう誰も信用できない。これから何を信じて生きていけばいいのかわからない」と嘆いていた。人が信じられないほど不幸なことはない。宗教は「信じられる者は救われる」と教えている。宗教は今の時代の変化に、何の役にも立たないのだろうか?

困っている人や苦しむ人々に、お寺は、どのような手を差し伸べればいいのかと、自問自答する日々が続く。

ホームページの「つれづれ日記」十月十日付けにも書いたが、突然お寺にやってくる「金をくれ」という人がいる。一つ間違えば危害を加えかねない恐れすらある。留守番をする身として

は、多少のお金を与えて早く立ち去ってもらおう方がよいのかも知れないが、一旦味をしめると、同じ手口で他の寺にも被害を及ぼすだろう。坊守の私としては、困った人を見ると放っておけない性格。少しでも事情を聞いて、相手の気持ちを和らげたいのは山々だが、相手は切羽詰っている。これから失業者があふれ、生活苦にあえぐ人が増えそうな気配だ。「一九二九年の世界恐慌の時、アメリカ経済が復興するには、三十年かかった。現在の不景気は世界的規模だから、もっと歳月がかかるだろう」と専門家が指摘する。そうした私が生きている間は、ずっと暗い時代が続くのかと絶望的になる。

そんな時は歴史に学ぶのが一番! 親鸞様の「末法時代」はどうだったのか? どう生き延びられたのかを調べてみた。親鸞聖人がお生まれになった時代は戦乱や災害が続発。十三歳の時には隣る平家が源氏に倒され、滅亡する「諸行無常」の時代だ。大雨、洪水、日照りが続き、大飢饉で京都では数万人の餓死者が鴨の川原に野積みされた。親鸞様は悲惨な現実から目をそらさず、「念仏こそが救われる道」と、民衆に念仏を唱えることを勧めた。自らも愚禿親鸞と名乗って「御同朋、御同行」として師弟関係を望まなかった。

今お寺に求められるのは、生きる術



を与えるのではなく、人々の心の中に、どんなときでも仏様は見捨てないという「本当の拠り所」を見出し、共に歩む姿勢をとることではないだろうか?

### ☆ホットニュース☆

☆善正寺のホームページが公開! 仏事に関する相談、お悩み等気軽にお寄せ下さい。「三重 善正寺」で検索可。

※「住職と坊守のつれづれ日記」がおススメ。ほぼ毎日更新。過去の日記も右横にある Archive(アーカイブス)2008.8月、9月をクリック。カレンダー方式で出てきます。開設二カ月でアクセス数が二千回を超えました。若い人やお寺と縁がなかった方の訪問に感謝。

※一面の「ミケチャン情報」や「新着情報」にも注目!

◇十一月二十日(木)夜七時(阿倉川・真楽寺於)「三重組研修会」住職・坊守・門徒さんの前で、坊守が「お寺の現状と未来について」提言発表とまとめ。初めての経験でハラハラドキドキです。

三重組コーラス♪

※十一月三日(祝)午後一時 光了寺 光あふれて、念仏、さんだんの歌

※十一月五日(水)午前・陽光苑慰問

※十一月十五日(土)夜六時半 西勝寺 「灯の集い」親鸞様、光あふれて、念仏、

◇十一月二十二日(土)御堂演奏会(6回目)バス八時半小杉、九時桜。参加葉書忘れずに、楽譜、数珠、コーラスの服、

### ☆寄稿

四日市市 川崎孝一

☆明けの鐘 今日の方角を 思う時

オート撞木が 撞く 音の間合い

☆秋の午後 ピアノ・フルートコンサート

調べはショパン 和室に充ちて

☆刈田にて 仰ぐ三日月 眉に似て

鑑録も 弓張りだった

四日市市 釈 超 道

☆目覚めても なお目覚めない

我が心

弥陀の光を浴びて 目覚めん

四日市市 釈 楽 邦

☆み仏と ご先祖さまに 見守られ

今日のいのちの ありがたや

四日市市 釈 心 海

☆秋桜や ホームページを見る度に

「つれづれ日記」の 智慧借りて

心なごむ 日々の生活

法名の投稿OK。ご投稿お待ちします。

キッズサンガ・杉の子合唱団

◇十一月八日(土)午後四時より

子供向けのお経、ゲーム、お菓子等

### ☆ 編集子より ☆

「善正寺だより」第一七九号をお届けします。◇四人の日本人ノーベル賞受賞者の中で、化学賞の下村先生の受賞を喜ぶ後輩の一人が「身震いするような嬉しさが込みあがってきました」と言われた感動の言葉が光った。敬愛の情溢れる先輩・後輩の熱き間柄を表す言葉に身震いするような感銘を受けた。◇初冬から師走に向かう季節、皆様の「自愛と安穩を切に願う次第。合掌。」

「金木犀の香りは阿弥陀様に似ている」と歩きながらふと思いました。両者共、姿形は見えないがそばに行くといく和ませてくれる存在。落ち葉のジュタンを踏みしめながら、秋の深まりの速さに驚きました。華やかに咲いた桜の木、落葉が早いようです。世界の状況も自然界と同じ。アメリカの経済危機が世界中に蔓延し、日本も厳しい時代に突入しました。一年前いや一ヶ月前には予想もしなかったこと、わずかの週間で日本政府の国の年間予算規模に近い6兆円もの金を失うということが、庶民の爪に火を灯すような節約生活をしても何の足しになるのでしょうか？まるで世界中の外灯が消え去ったような衝撃です。しかしあわてふためくなかれ、暗闇の中で夜空を見上げれば、幾千万の星の輝き、月の光に恵まれているではありませんか！外灯など無かった時代、昔の人は星や月と対話してその恩恵に感謝していたのです。きらびやかな人工の明かりは、欲のままに虚飾の世界。聖徳太子の十七条憲法「世間虚仮唯仏是真」の精神に立ち返る時が来たのです。当てにならないものを求めてあぐねてきた日々から、本当に頼りになるものこそ、私達一人一人の心の中に見つけようではありませんか？十一月はスケジュール満載です。個人的には少夜三重組研修会（真宗寺様於）で坊守代表としてお寺の現状と未来について提言発表もあす。初めての経験でドキドキです。また三重組コーラスは少夜（主）京都西本願寺御堂演奏会に6回目の参加です。皆様と共に歩むお寺でありたいと思ひます。平成二十年十一月 合掌 善正寺坊守様